

聖泉大学看護学部

看護キャリアアップセンター活動報告

2021 年度

Vol. 9

聖泉大学看護学部附属看護キャリアアップセンター

ごあいさつ

聖泉大学看護学部
学部長 緒方 昭子

日頃は、本学看護学部の教育にご支援・ご協力をいただきましてありがとうございます。さらに看護学部キャリアアップセンターの活動にご理解、ご協力いただきますことに感謝申し上げます。

聖泉大学看護学部は 2021 年度には学部開設から 11 年目を迎え、大学院看護学研究科においては 5 期生を輩出することができました。

看護学部開設時より設置されたキャリアアップセンターにおきましては、地域の医療・教育の発展と向上、保健・医療・福祉・教育現場の相互交流を目的として、看護研究講座、研究のサポート、共同研究、卒業生へのキャリア教育を行っております。

看護研究講座におきましては、研究の初心者を対象としたビギナーコースと、研究の基礎を修得している方を対象としたアドバンスコースを企画・運営してきました。これまでのキャリアアップ講座の修了者は 237 名に達しました。修了時のアンケートでは、講座の内容、教員のサポートなど好評価をいただいております。キャリアアップセンター委員会メンバーをはじめとする本学教員の励みともなっております。

また、卒業生へのキャリア教育としましては、看護研究や臨床で役立つ研修会を企画してきました。コロナ禍により参加者が少ない状況ではありますが、今後も内容をさらに充実させ卒業生研修会を継続していきたいと考えております。学部学生が卒業後も聖泉大学との繋がりを持ち、それぞれの職場で活躍できるように支援を続け、地域に根差した大学でありたいと考えております。

キャリアアップ講座修了生の皆様は、本講座で学ばれた研究方法等の知識を臨床でお役立っていただいていることと思います。是非これからも、現場の研究課題を解決するために取り組んでいただきたいと思います。その際には本学教員との共同研究の視点もお持ちいただけますと幸いです。また、さらに研究の学びを深めたいお考えの際には、本学大学院で学んでいただき、研究のやりがい、喜びを実感していただければと思います。

今後も県内看護職の方々にとって、身近な場所で学びやすく感じていただけるキャリアアップセンターを目指してまいりますので、是非ご活用いただきますようお願い申し上げます。

目 次

ごあいさつ

聖泉大学看護学部長 緒方昭子

I. キャリアアップ講座の概要	1
1 ビギナーコースとアドバンスコース	
2 キャリアアップ講座の実際（2021 年度）	
II. 卒業生研修会.....	7
III. キャリアアップ講座の講義内容および担当講師の紹介	8
1 ビギナーコース（第 1 回）	
2 ビギナーコース（第 2 回）	
3 ビギナーコース（第 3 回）	
4 ビギナーコース 個別研究サポート（第 4 回）	
5 アドバンスコース	
IV. キャリアアップ講座に関するアンケート結果	17
1 ビギナーコースについて	
2 アドバンスコースについて	
V. 卒業生研修会に関するアンケート結果	26

資料

◆ 聖泉大学看護学部附属看護キャリアアップセンターの概要.....	29
◆ 聖泉大学看護学部附属看護キャリアアップセンター規程.....	30
◆ 個人情報の使用に係る承諾について.....	32
◆ キャリアアップ講座受講者の情報システム利用について.....	33
◆ 共同研究のお誘い.....	34
◆ 看護キャリアアップセンター 研究相談・共同研究フローチャート.....	35

あとがき

聖泉大学看護学部附属看護キャリアアップセンター長 流郷千幸

I. キャリアアップ講座の概要

1. ビギナーコースとアドバンスコース

1. ビギナーコースの到達目標

- ①看護計画の書き方・研究倫理について理解できる.
- ②文献検索・文献クリティークの方法が理解できる.
- ③量的研究・基礎統計について理解できる.
- ④質問紙調査の方法・Excel を活用したデータ処理について理解できる.
- ⑤学会発表の方法について理解できる.

2. アドバンスコースの到達目標

SPSS を活用したデータ処理の方法が理解できる.

3. 開催日：ビギナーコース

令和3（2021）年 5 月 28 日（金）

6 月 25 日（金）

7 月 30 日（金）

8 月 27 日（金）

アドバンスコース

令和3（2021）年 8 月 26 日（木）

4. 場 所：聖泉大学学内

5. 対 象：主に滋賀県下の保健・医療・福祉・教育機関に在職する者

6. プログラム：ビギナーコース，アドバンスコース

ビギナーコース(第1回)	ビギナーコース(第2回)	ビギナーコース(第3回)	ビギナーコース(第4回)	アドバンスコース（特別講座）
5月28日（金）	6月25日（金）	7月30日（金）	8月27日（金）	8月26日（木）
＜研究の方法と進め方＞ 講師：西山 ゆかり 10：00～11：00（60分）	＜質的研究＞ ＜面接調査の方法＞ 講師：平田 美紀 10：00～11：30（90分）	＜量的研究＞ ＜基礎統計について＞ 講師：井之口 文月 10：00～11：00（60分）	＜学会発表の方法＞ 口演・示説 講師：安孫子 尚子 10：00～11：30（90分）	＜統計解析の基礎＞ 講師：鈴木 美佐 10：00～11：30（90分）
＜研究計画書の書き方＞ ＜研究倫理について＞ 講師：中島 真由美 11：10～12：10（60分）	＜分析方法について＞ 講師：平田 美紀 12：30～13：30（60分）	＜質問紙調査の方法＞ 講師：川嶋 元子 11：10～12：00（50分）	＜個別研究指導＞ 担当：看護学部教員 12：30～14：30（120分）	＜統計解析の演習＞ 講師：鈴木 美佐 12：30～14：00（90分）
＜文献検索の方法＞ 講師：大久保 仁司 13：30～14：30（60分）	＜分析方法について＞ 講師：平田 美紀 13：40～15：40（120分）	＜Excelを活用した データ処理＞ 講師：川嶋 元子 13：00～14：20（80分）		＜SPSSを学ぼう＞ 講師：鈴木 美佐 14：10～15：40（90分）
＜文献クリティーク＞ 講師：大久保 仁司 14：40～15：40（60分）		＜Excelを活用した データ処理＞ 講師：川嶋 元子 14：30～15：40（70分）		

※講座参加者には、講座風景写真，及び終了後アンケート調査結果等，個人情報に係る内容について，文章を用いて説明し，使用の承諾を得た。

2. キャリアアップ講座の実際（2021 年度）

○キャリアアップ講座ビギナーコース（第1回）

5月28日（金）に「キャリアアップ講座ビギナーコース（第1回）」を開講しました。開校式に続いて午前中は「研究の方法と進め方」「研究計画の書き方」「研究倫理について」の講義、午後からはコンピューター室にて「文献検索の方法」「文献クリティック」についての講義と演習を行いました。

受講生からは、研究テーマを考えるヒントをもらえた、事例をもとに計画書の作成やクリティックを学んだので分かりやすかった、などの声をいただきました。



○キャリアアップ講座ビギナーコース（第2回）

6月25日（金）に「キャリアアップ講座ビギナーコース（第2回）」を開講しました。第2回の内容は、「質的研究」の面接調査の方法、分析方法でした。午前中は質的研究の基礎知識や手法の講義の後、受講生同士の模擬インタビューを行いました。午後からは分析方法の講義を受け、グループで模擬データを分析する演習を行いました。

受講生からは、質的研究の分析について詳しく学ぶことができた、大変な過程ではあるが、この作業が大切な工程であることがよく分かった、演習（インタビュー調査）を実際に体験してみて、インタビュー内容をあらかじめしっかり決めておかないと研究調査がうまくいかないことが分かった、などの声をいただきました。



○キャリアアップ講座ビギナーコース（第3回）

7月30日（金）に「キャリアアップ講座ビギナーコース（第3回）」を開講しました。この日は量的研究について学ぶ1日となりました。午前は、「基礎統計について」「質問紙調査の方法」の講義を受け、グループで質問紙を作成しました。午後からの「Excelを活用したデータ処理」では、受講生同士で行った質問紙調査の結果を入力し、実際のデータを操作して、記述統計を出し、グラフへの変換も行いました。

受講生からは、実際にパソコンを使用しての演習だったため、とても分かりやすかった、今後も継続してやっていきたい、などの声が聞かれました。



○キャリアアップ講座ビギナーコース（第4回）

8月27日（金）に「キャリアアップ講座ビギナーコース（第4回）」を開講しました。

午前中にコンピューター室で「学会発表の方法 口演・示説」の講義を受け、実際にパワーポイントを使用してポスターを作成する演習を行いました。

受講生からは、パワーポイント作成のポイントなど大変わかりやすく勉強になった、などの声が聞かれました。

午後には本講座のまとめとなる「個別研究指導」のグループ演習を行いました。事前に受講生が作成した研究計画書をもとに、研究の進め方についてディスカッションを行い、看護学部教員の指導を受けました。

受講生からは、看護研究に対する不安だけでなく日々の業務に対しても適切なアドバイスをいただき今後に生かしていきたい、助言をたくさんいただき、意味のある研究ができるように思う、などの声が聞かれました。

○キャリアアップ講座アドバンスコース開催

8月26日（木）に「キャリアアップ講座アドバンスコース」が開催されました。

今年ビギナーコースを受講された方、もしくはパソコン操作（エクセル）にある程度習熟された方を対象にした本講座に、今年度は12名の参加がありました。

実際にパソコンを使いながら、午前中は「統計解析の基礎」の講義を受け、午後は「統計解析の演習」「SPSSを学ぼう」の演習で、実際にSPSSソフトを使った検定の方法や、分析結果の解釈について学びました。

受講生からは、資料が本当に分かりやすかった、自分の計画を振り返りながら受講したことで、どの検定がいいのか見通しができたように思う、などの声が聞かれました。



Ⅱ．卒業生研修会

11月13日（土）に聖泉大学看護学部1期生（卒後6年目）、2期生（卒後5年目）、3期生（卒後4年目）、4期生（卒後3年目）、5期生（卒後2年目）を対象とした研修会が開催され、14名の卒業生が母校での研修会に参加しました。

研修会では、木村 里美氏（済生会滋賀県病院 精神看護専門看護師，看護副部長）による「看護師のためのメンタルヘルス」についての講演が行われました。

受講した卒業生からは、自身のメンタルヘルスについて改めて考え直し、振り返ることができた、「ストレスがあると自分にも他人にもやさしくできない」という点に共感できた、などの感想をいただきました。

Ⅲ. キャリアアップ講座の講義内容および 担当講師の紹介

1. ビギナーコース（第1回） 1 時限目

講義テーマ	研究の方法と進め方	担 当	西山 ゆかり
日 時	2021 年 5 月 28 日（金） 10：00～11：00	場 所	地域・精神・在宅看護学実習室

1) 講義の概要

看護研究を実践するにあたり，研究のプロセスを理解する．さらに自らが実践している看護ケアの中で起こっている現象から研究疑問を見つけ出す方法を学ぶ．

2) 講義の到達目標

- ①日々，実践している看護の現象から研究疑問を見つけることができる．
- ②研究疑問から研究プロセスが理解できる．
- ③研究テーマの絞り込み方法を理解し，自らの研究課題を見出すことができる．

3) 講義内容

1. 研究とは「よく調べ考え真理をきわめること」
2. 研究の定義
3. 研究・文献検索を始める前にすること：研究のねた探し
4. 研究のプロセス
5. リサーチクエッションを見つけよう！
6. 実際の臨床看護研究の紹介

参考文献

- 坂下玲子：看護研究，医学書院，2017.
- 前田樹海：はじめての看護研究，ナツメ社，2018.
- 横山美江：よくわかる看護研究の進め方・まとめ方 第2版，医歯薬出版，2011.
- Polit, D. F. & Beck, C. T. /近藤潤子監訳：看護研究第2版，pp 3-61. 2010.
- 李節子：看護研究のこころえ帳，医歯薬出版，2010.
- 黒田裕子：看護研究 Step by Step 第4版，医学書院，2012.
- 坂下玲子：Research Question の設定と精練，看護研究，44（2），2011.

【講師】西山 ゆかり（基礎看護学）

専門は基礎看護学で『看護における補完代替医療／療法』『看護教育責任者・担当者の教育プログラム開発』『看護師の職業自我の発達過程』に関する研究に取り組んでいる．

ビギナーコース（第1回）2時限目

講義テーマ	研究計画書の書き方 研究倫理について	担 当	中島 真由美
日 時	令和3年5月28日（金）11:10～12:10	場 所	地域・精神・在宅看護学実習室

1) 講義の概要

研究計画書の書き方について、研究計画書の構成要素に沿い例題を用いながら学習する。また、研究計画を進めていくにあたり、必要となる倫理的配慮について学ぶ。

2) 講義の到達目標

- ①研究計画書の書き方を理解する。
- ②研究における倫理的配慮を理解する。

3) 講義内容

1. 研究計画書の書き方

- 1) 研究計画書とは
- 2) 研究計画書に記載すべき内容とは
- 3) 研究計画書の書き方の実際
- 4) 研究の添付資料

2. 研究倫理について

- 1) 研究倫理とは
- 2) 研究倫理として考えておくべき内容

参考文献

- 坂下玲子：系統別看護学講座 別巻 看護研究，248-264，医学書院，2016。
- 南裕子，野島佐由美：看護における研究，第2版，120-134，日本看護協会出版会，2017。
- 黒田裕子：黒田裕子の看護研究 step by step，第5版，医学書院，2017。
- 早川和生：JJN スペシャル 看護研究の進め方 論文の書き方，114，医学書院，2012。
- 舟島なをみ：研究指導方法論，254-273，医学書院，2015。
- 文部科学省・厚生労働省・経済産業省：人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 ガイダンス，2021。

【講師】中島 真由美（成人看護学）

専門は成人看護学で『慢性疼痛・疼痛緩和』に関する研究に取り組んでいる。

ビギナーコース（第1回）3・4時限目

講義テーマ	文献検索の方法 文献クリティーク	担 当	大久保 仁司
日 時	令和3年5月28日（金）13：30～15：40	場 所	第4コンピュータ室

1) 講義の概要

研究論文から研究方法の種類・手順・内容を確認後、クリティーク「評価、検討、判断」の手順を学び、先行研究レビューの目的（意義）と方法について学習する。

2) 講義の到達目標

- ①研究論文から研究の方法の種類・手順・内容について理解する。
- ②文献クリティークの方法について理解する。
- ③演習を行うことにより、文献クリティークが理解できる。

3) 講義内容

1. 文献検索の方法

- 1) 文献検索の目的
- 2) 文献の種類・データベース
- 3) 文献検索の方法・実際
- 4) 文献整理について

2. 文献クリティーク

- 1) クリティークの意義
- 2) 論文の構成
- 3) 論文クリティークのプロセスとクリティカル・シンキングの要素
- 4) クリティークの実際

参考文献

医学中央雑誌刊行会ホームページ

<https://www.jamas.or.jp/user/guide/> 2020.8.11 閲覧

黒田裕子：「黒田裕子の看護研究 step by step 第5版」，医学書院，2017.

井上幸子：看護における研究，看護学体系10，第2版，日本看護協会出版会，2006.

山口瑞穂子，石川ふみよ：ひとりで学べる看護研究，第1版，照林社，2010.

【講師】大久保 仁司（成人看護学）

専門は成人看護学で『がん看護』に関する研究に取り組んでいる。

2. ビギナーコース（第2回） 1～4時限目

講義テーマ	質的研究・面接調査の方法 分析方法について	担 当	平田 美紀
日 時	令和3年6月25日（金） 10：00～11：30（質的研究・面接調査） 12：30～15：40（分析方法について）	場 所	地域・在宅・精神看護学実習室

1) 講義の概要

質的研究の方法について学ぶことを目的とした講義である。質的研究方法の概要、面接調査の方法について講義を受けた後に演習にて、例題の逐語録のデータを分析し、コード化・カテゴリー化の方法について理解することができる。

2) 講義の到達目標

- ①質的研究・面接調査の方法について理解できる
- ②データ分析の演習を行うことにより、逐語録をコード化、分析することができる

3) 講義内容

1. 質的研究の進め方

- 1) 質的研究とは
- 2) 質的研究の方法
- 3) インタビューの種類とインタビューガイドについて
- 4) 参加観察法の種類と方法について
- 5) 質的研究における倫理的配慮について

2. インタビューを行ってみよう【演習】

- 1) インタビューガイドを作成する
- 2) インタビューを体験する

3. データ分析

- 1) 逐語録をコード化する
- 2) コード化したデータを分析し、サブカテゴリ、カテゴリ化する

4. 質的分析を行ってみよう【演習】

- 1) 逐語録からコードを抽出する
- 2) サブカテゴリ、カテゴリを生成する過程を体験する

参考文献

- 坂下玲子：看護研究，医学書院，2017.
- 谷津裕子：Start Up 質的看護研究第2版，学研，2015.
- グレッグ美鈴：よくわかる質的研究の進め方・まとめ方第2版，医歯薬出版株式会社，2016.
- 井下理（監）：グループ・インタビューの技法，慶応義塾大学出版会，2012.
- 萱間真美：質的研究のピットフォール，医学書院，2013.

【講師】平田 美紀（小児看護学）

専門は小児看護学で『検査・処置を受ける乳幼児と母親への支援』に関する研究に取り組んでいる。

3. ビギナーコース（第3回）1 時限目

講義テーマ	量的研究 基礎統計について	担 当	井之口 文月
日 時	令和3年7月30日（金）10：00～11：00	場 所	地域・精神・在宅看護学実習室

1) 講義の概要

量的研究の定義・意義・プロセスについて学び、基礎統計についての基本を学ぶ。

2) 講義の到達目標

- ①量的研究の定義・意義・プロセスについて理解する。
- ②基礎統計について理解する。

3) 講義内容

1. 量的研究とは
2. 量的研究のプロセス
 - 1) 対象の選定
 - 2) 標本の抽出
 - 3) 無作為化の重要性
3. 基礎統計について
 - 1) 計画段階
 - 2) データ集計
 - 3) 基礎統計

参考文献

藤林和俊：看護研究をはじめのための統計と臨床疫学，学研メディカル秀潤社，2013.
中村好一：やさしい統計学入門，診断と治療社，2009.
市原清志：バイオサイエンスの統計学，南江堂，1990.

【講師】 井之口 文月（基礎看護学）

専門は基礎看護学で『「人体の構造と機能」の教育方法』『解剖見学における倫理教育』に関する研究に取り組んでいる。

ビギナーコース（第3回） 2・3・4 時限目

講義テーマ	質問紙調査の方法 Excel を活用したデータ処理	担 当	川嶋 元子
日 時	令和3年7月30日（金） 11:10～12:00（質問紙調査の方法） 13:00～15:40（Excel を活用したデータ処理）	場 所	第4コンピュータ室

1) 講義の概要

質問紙調査の方法と、研究を進める上で必要なデータ処理に関するスキルを身につけることを目的とした講義である。具体的には、Excel を用いてデータを入力し、表計算の方法や記述統計について、実際に行った質問紙調査のデータを用いて演習を行う。

2) 講義の到達目標

- ①質問紙調査の方法について理解し、実際に質問紙を作成することができる。
- ②作成した質問紙調査のデータを、Excel を活用し、データを処理することができる。

3) 講義内容

1. 質問紙調査の方法 1) 質問紙調査の長所・短所 2) 質問紙調査の具体的方法・構成 3) 操作的定義 4) 質問項目の設定・留意点・尺度について 6) 倫理的配慮について 2. Excel を活用したデータ処理【演習】 1) 質問紙のデータの入力をする 2) データ処理をする 3) 記述統計（単純集計） 4) 集計表を作成する
--

参考文献

- 土屋雅子：看護・医療系スタッフのための質問紙作成ワークブック，診断と治療社，2014.
- 土屋雅子：看護・医療系研究のためのアンケート・面接調査ガイドー初心者にもできる質問紙・インタビューガイドの作り方，診断と治療社，2013.
- 石井京子：ナースのための質問紙調査とデータ分析，医学書院，2009.
- 坂下玲子：系統看護学講座別巻看護研究，医学書院，2017.
- 目黒正俊：よくわかる Microsoft Excel 2010 基礎，富士通 FOM，2013.
- 田久浩志：医療者のための Excel 入門 超・基礎から医療データ分析まで，医学書院，2016.

【講師】川嶋 元子（在宅看護学）

専門は在宅看護学で『外来看護における在宅療養支援』に関する研究に取り組んでいる。

4. ビギナーコース（第4回）1・2時限目

講義テーマ	学会発表の方法 口演・示説	担 当	安孫子 尚子
日 時	令和3年8月27日（金）10:00～11:30	場 所	第4コンピュータ室

1) 講義の概要

学会発表の意義と方法について学ぶ。また、スライド・ポスターの作成、学会発表の方法や諸注意事項について学習する。

2) 講義の到達目標

- ①学会発表の口演・示説について理解できる
- ②学会発表のための効果的な PowerPoint を使用した資料の作り方を理解できる

3) 講義内容

1. 学会発表について
 - 1) 学会発表までのプロセス
 - 2) 演題登録
 - 3) 抄録作成
 - 4) 発表準備
2. パワーポイントを使つてのスライド作成について
 - 1) スライド作成の原理原則
 - 2) 3つの技術
3. スライド・ポスターの作成【演習】
 - 1) 実際にスライドを作成しよう
 - 2) 実際にポスターを作成しよう
4. 学会発表について
 - 1) 口頭発表・示説発表について
 - 2) 発表時の注意点について

参考文献

- 斎藤裕之、佐藤健一（2010）：JJN スペシャル 医療者のための 伝わるプレゼンテーション，医学書院，東京。
- 早川和生（2012）：JJN スペシャル 看護研究の進め方 論文の書き方，医学書院，東京。
- 及川慶浩（2013）：ポスター作成アプリがダウンロードできる！思わずみんなが目をとめる看護研究ポスターセッション，メディカ出版，大阪。
- 飯田英明（2016）：驚くほど相手に伝わる学会発表の技術，中山書店，東京。
- 宮野公樹（2018）：学生・研究者のための伝わる！学会ポスターのデザイン術 ポスター発表を成功に導くプレゼン手法，化学同人，京都。

【講師】安孫子 尚子（地域看護学）

専門は地域看護学で『人生の最終段階における医療・ケアに対する元気高齢者の意思決定』の研究に取り組んでいる。

ビギナーコース 個別研究サポート（第4回） 3・4時限目

講義テーマ	個別研究指導	担 当	看護学部教員
日 時	令和3年8月30日（金）12：30～14：30	場 所	地域・精神・在宅看護学実習室 母性・小児看護学実習室

1) 研究指導の概要

看護教員19人が相談者39人の希望する領域や研究テーマに合わせて個別に対応した。研究テーマを持つ相談者が多く、テーマを持たない相談者は他の受講生の相談と一緒に聴講するかたちであった。抄録や研究計画書を持参する受講生も多く、具体的な内容の指導となった。発表の予定は院内（施設内）・施設外が20件、予定なしが7件、不明が数件であった。

2) 研究指導内容

- ①研究の問いをどのように絞り込めば良いか、研究の目的は何かを明確にする
- ②研究方法について（①データ収集方法について、②分析方法について）
- ③文献検討の必要性について
- ④倫理的配慮、倫理審査について

5. アドバンスコース 1～4 時限目

講義テーマ	統計解析の基礎・演習	担 当	鈴木 美佐
日 時	令和3年8月30日（金） 10：00～11：30（統計解析の基礎） 12：30～14：00（統計解析の演習） 14：10～15：40（SPSSを学ぼう）	場 所	第4コンピュータ室

1) 講義の概要

看護研究に取り組む中で、Excel によるデータ処理・基礎統計に加え、さらに本格的に分析方法について学ぶことを目的とした講義である。

2) 講義の到達目標

- ①統計解析の基礎を理解できる。
- ②SPSS の操作を理解できる。

3) 講義内容

1. 統計解析の基礎

- 1) 統計，統計解析とは，なぜ統計・統計解析が必要なのか
- 2) 統計データの整理法（度数分布，ヒストグラム）
- 3) データの傾向・性質・特徴を知る（平均，中央値，最頻値，分散，標準偏差）
- 4) 変数（従属変数，独立変数），量的データと質的データ，尺度
- 5) 仮説を立てる（統計学的仮説検定，帰無仮説，対立仮説）
- 6) 検定とは（帰無仮説，有意確率，p 値，有意水準，t 検定， χ^2 検定）

2. 統計解析の演習

3. SPSS を学ぼう

- 1) SPSS の基本操作
- 2) 変数ビュー，新しい変数を作る
- 3) 記述統計， χ^2 検定，t 検定

参考文献

- 石村貞夫：SPSS でやさしく学ぶアンケート処理 第4版，東京図書，2015.
- 石村貞夫：よくわかる統計学 看護医療データ編 第2版，東京図書，2015.
- 出村慎一：健康・スポーツ科学のための SPSS による統計解析入門，杏林書院，2007.
- 今野紀雄：図解雑学 統計，ナツメ社，1999.
- 米川和夫：超初心者向け SPSS 統計解析マニュアル，北大路書房，2010.
- 竹原貞真：SPSS のススメ 1，北大路書房，2013.
- 山蔭道明監修：看護研究これで安心！うまくいく！超入門らくらく使えるはじめての統計学，メディカ出版，2008.

【講師】鈴木 美佐（小児看護学）

専門は小児看護学で『食物アレルギーをもつ小児と家族の QOL』『採血を受ける小児のプレパレーション』に関する研究に取り組んでいる。

IV. キャリアアップ講座に関するアンケート結果

1. ビギナーコースについて

受講者の自己評価アンケートは、第1回～第4回講座において実施した。

1) 第1回～第4回の講座

ここでは、第1回～第4回講座後のアンケート結果をまとめた。

今年度は、登録者数は22人（大学院院生含まず）であった。アンケートの回収数は第1回22枚（回収率100%、有効回答率100%）、第2回21枚（回収率95.5%、有効回答率100%）、第3回19枚（回収率86.3%、有効回答率100%）、第4回20枚（回収率90.9%、有効回答率100%）であった。それぞれの質問項目に対し、そう思わない1点～そう思う5点の5件法で回答を求めた。

(1) 基本属性

年齢層は30～40歳代が6割以上を占めており、平均経験年数は12.1±7.4年と看護の経験を積み重ねた熟練看護師が多かった。また職種は、看護師・保健師であった（表1）。

表1 ビギナーコース受講者の属性

n=22

個人の属性	人数	割合 (%)
性別		
男性	10	45.5
女性	12	54.5
年齢		
20歳代	6	27.3
30歳代	9	40.9
40歳代	5	22.7
50歳代以上	2	9.1
職種		
看護師	21	95.5
保健師	1	4.5
助産師	0	0
介護職	0	0
その他	0	0

2) 各講座の内容に関する項目

(1) 第1回講座のアンケート結果

第1回の講座は、「研究の方法と進め方」「研究計画書の書き方」「文献検索の方法」に関する内容であり、研究の方法と進め方と文献検索の方法についてはほぼ全員が理解できたと回答していた(表2)．総合満足度も高い値であった．文献検索とクリティークの講座では、パソコン室で実際に自分の興味のある文献を検索するなど、本学キャリアアップ講座において演習を通してクリティークが体験できる機会であり、今後継続して論文に触れる動機づけになった．

表2 第1回講座 アンケート結果

		n=22		
講義内容	質問項目	Mean	±	SD
研究の方法と進め方	内容の理解	4.50	±	0.51
	満足度	4.50	±	0.60
	資料が適切か	4.64	±	0.49
研究計画書の書き方	内容の理解	4.45	±	0.51
	満足度	4.50	±	0.51
	資料が適切か	4.45	±	0.60
研究倫理	内容の理解	4.23	±	0.69
	満足度	4.27	±	0.55
	資料が適切か	4.41	±	0.50
文献検索の方法	内容の理解	4.68	±	0.48
	満足度	4.73	±	0.46
	資料が適切か	4.55	±	0.60
文献クリティーク	内容の理解	4.05	±	1.00
	満足度	4.10	±	1.09
	資料が適切か	4.05	±	1.12
総合満足度		4.50	±	0.51

表3 第1回講座の感想

1. 学び

- ・テーマ決定に悩んでいたが、考え方、プロセスを学べた。文献検索の重要性に気づいた。
- ・研究のテーマの絞り方の講義が良く理解でき、参考になった。文献検索に不安を感じていたが、何とかできそうな気がして安心した。
- ・文献クリティークが難しかったので、自身で文献を探し、読んで実践していこうと思う。日々の疑問をメモし、テーマを決定していこうと思う。
- ・研究テーマを考えるのに時間がかかっているが、ヒントをもらえた。肯定的なテーマでたくさん文献検索を試みようと思う。
- ・漠然としたテーマからどうテーマを絞っていくか、これから考えていく参考となった。文献検索の方法について学べたので、戻ってやってみようと思う。
- ・文献検索やクリティークの方法などを学び、良くわかった。実際に活用していけそうな気がします。
- ・研究の進め方についてまず疑問点を挙げてみる。そしてその研究を行っていくのか自問してはつきりさせておくことが大切だと感じた。文献検索を行うときは、クリティーク的に見ていくことで文献として使用していけるか判断できるので、知ることができてよかった。

(2) 第2回講座のアンケート結果

第2回の講座は、質的研究の「面接調査の方法」「分析方法」に関する内容であり、どちらの講義も内容の理解は「そう思う」「ややそう思う」を合わせて100%であった。内容の理解も95%を超えていた（表4）。

第2回の講座では、質的研究の概要や面接方法の講義を受けた後に、例題を用いた分析を個人演習とグループ演習で体験する内容であった。

表4 第2回講座 アンケート結果 n=21

講義内容	質問項目	Mean	±	SD
質的研究 面接調査の方法について	内容の理解	4.32	±	0.51
	満足度	4.45	±	0.60
	資料が適切か	4.55	±	0.67
質的研究 分析方法について	内容の理解	4.27	±	0.60
	満足度	4.36	±	0.68
	資料が適切か	4.50	±	0.68
総合満足度		4.71	±	0.47

表5 第2回講座の感想・意見

1. 学び

1) 面接調査について

- ・面接調査を実際に体験してみて、インタビュー内容をあらかじめしっかり決めておかないと研究調査がうまくいかないということが分かった。
- ・自分自身の傾向を知ることができ、相手に主体性を持って答えてもらう難しさを知ったので、今後に生かしていきたい。

2) 分析方法について

- ・質的研究の経験がなく、カテゴライズの作業が難しかった。良い経験になった。
- ・コード化、カテゴリー化をグループで協議しながら取り組めて良かった。言葉の選び方が難しくてなかなかカテゴリーまで進むことができなかった。本日の動きを参考にして研究に取り組んでいきたい。
- ・コード化、サブカテゴリー→カテゴリーとまとめる方法が分かったが、実際にグループワークでまとめていくのは難しかった。
- ・コードを本文から出してくるのに時間がかかった。

2. その他・感想

- ・コード化することが難しかった。個別に質問して理解できたことが多かったですが、優しく教えていただきありがとうございました。
- ・一日かけて質的研究をしっかり学べてよかった。
- ・ロールプレイがあり、実際の研究のイメージが付きやすかったです。ありがとうございました。

(3)第3回講座のアンケート結果

第3回の講座は、「量的研究・基礎統計」「質問紙調査の方法」「Excelを活用したデータ処理」に関する内容であり、質問紙調査の方法については、内容の理解、満足度、資料の適切さともに「そう思う」「ややそう思う」を合わせると100%となっていた（表6）。

第3回講座は、量的研究における基本である基礎統計を学び、研究を進めるうえで必要な質問紙調査の作成や、質問紙への回答後に行うデータ処理という、実際に行う研究の流れを体験する内容であった（表7）。

表6 第3回講座 アンケート結果

		n=19		
講義内容	質問項目	Mean	±	SD
量的研究 基礎統計について	内容の理解	3.6	±	0.82
	満足度	4.0	±	0.88
	資料が適切か	4.3	±	0.60
質問紙調査の方法について	内容の理解	4.2	±	0.50
	満足度	4.5	±	0.51
	資料が適切か	4.6	±	0.48
Excelを活用したデータ処理について	内容の理解	4.1	±	0.63
	満足度	4.4	±	0.61
	資料が適切か	4.6	±	0.48
総合満足度		4.6	±	0.61

表7 第3回講座の感想・意見

1. 学び

- ・統計方法はあまり学んだことがなかったので、講義を受けてよかった。
- ・病院でグラフを作ることがあったが、作り方がわからなかったのも、この講義で理解できたのでよかった。
- ・エクセルは自己流で時間をかけてやっていたものが、少しでも時短できればいいなあとと思いました。
- ・実際にパソコンを使用しての演習だったため、とても分かりやすかったです。質問紙作成に関しても具体的にどのように記載したほうが良いかよくわかりました。
- ・今まで自分で、本などで勉強しながら時間をすごくかけて行っていましたが、とても簡単にできる方法を教わり、これから時間短縮がはかれると思います。色々なことに役立ちそうです。
- ・実際にエクセルの操作ができてよかったです。エクセルを自宅に帰っても復習しないとすぐに忘れそうなので、資料をもとに見直せそうです。
- ・エクセルの計算方法などを学ぶことができ今後の研究に活用していきたいと思います。とても分かりやすい内容でした。
- ・アンケートの集計をどうしたらよいか分からなかったのですが、とても参考になりました。アンケート内容も項目が多すぎたり、目的にあった質問を考え修正していかなければならないと改めて感じました。

2. その他・感想

- ・一回やっただけでは理解できていないので今後も継続していきたい。エクセルについて理解できていないことも多くあるので、できるようになり、看護師としてキャリアアップしていきたい。

(4) 第4回講座のアンケート結果

第4回の講座は、「学会発表の方法（口演・示説）」に関する内容と、「個別研究指導」であり、学会発表（口演・示説）については、92%が理解したと回答していた。個別研究相談では、「そう思う」「ややそう思う」を合わせると100%の受講者が講師の助言が分かりやすかったと回答していた。（表8）。

第4回講座は、学会発表の方法については、第2回講座の量的研究と第3回講座の質的研究の成果を発表するための講義と演習という内容であり、個別研究相談では、受講生全員が研究計画書や研究の構想を事前提出もしくは当日に持参し、その内容をもとにグループごとに各領域の教員から、研究の進め方についての具体的な講義を受けた。

表8 第4回講座 アンケート結果 n=20

講義内容	質問項目	Mean	±	SD
学会発表の方法について	内容の理解	4.6	±	0.59
	満足度	4.5	±	0.67
	資料が適切か	4.5	±	0.59
個別研究相談について	助言はわかりやすかったか	4.8	±	0.40

表9 第4回講座の感想・意見

1. 学び
 - 1) 学会発表の方法（口演・示説）について
 - ・スライドの作成方法が分かりやすかったです。
 - ・パワーポイント作成のポイントなど大変わかりやすく勉強になりました。
 - 2) 個別研究相談について
 - ・知りたかったことを指導してもらい、よかったです。
 - ・いろいろ悩んでいたところが少し晴れた気がしました。
 - ・具体的な部分を教えていただき、よくわかりました。
 - ・4日間ありがとうございました。特に個別研究指導は助言をたくさんいただきました。意味のある研究ができるよう努力いたします。
 - ・病棟では業務しながら相談の時間が取れなかったりするが、今回「個別相談」で相談させてもらって、いろいろ参考になりました。ありがとうございました。
 - ・個別相談にて、看護研究に対する不安だけでなく、日々の業務に対しても適切なアドバイスをいただいた。今後に生かしていきたい。
2. その他（感想）
 - ・実際に参考になる知識や学びを得ることができました。
 - ・発表の方法やまとめ方のポイントを知ることができた。尺度もいろいろあるようですが、使い方が難しく思った。

個別研究相談に対する看護教員の指導内容について、相談に対応した各領域の教員から報告された指導内容を、項目に分類して記す（表 10）。

表 10 個別研究相談に対する看護教員の指導内容

【テーマの絞り込みについて】

- ・影響の大きい因子に関わることでより効果的なケアになると考えられるため、概念図を作成して、何が問題で、それに関連する要因が何かを洗い出すことを勧めた。そのための手段として文献検討を行うこと、研究の目的を明確化することを勧めた。
- ・研究をするうえでの達成可能なレベルでの研究目的をまず考える必要がある。
- ・例えば研究会や勉強会を実施し、その前後に参加した看護師にアンケートをとるなどして変化を見るということも研究としてできる。
- ・自分自身の看護の振り返りがメインになると、研究としては、例えば他の人に活かすことができるかということも考えないといけない。
- ・研究という視点で今後実施していくなら、先行研究を検索しながら、何を研究したいのか（自分自身の振り返り？不安を抱えている患者さんの心理？患者さんのどのタイミングでの関わり？）をもう少し明確にしなければいけない。
- ・看護師の認識の変化を見るような研究としてみると良いのではないかと。看護師の現状の意識を確認し、勉強会や研修後の意識の変化を見ること、目的や意義を考えて、看護に還元できるようにし、看護師への教育や看護の改善に取り組めるような内容であれば可能ではないかと助言した。
- ・臨床で出会う困りごとや気になることはたくさんあると思うのでそこを研究疑問にする。
- ・プロセスレコードは行動の振り返りとなるので、目的は看護の振り返りであり、症例報告の研究になる。また、複数の事例を振り返った場合には、振り返り内容をまとめることが可能になるため、行った行動などをまとめて（カテゴリー化するなど）発表することは可能であることを伝えた。
- ・病棟ではどのようなケアとなっているのかをまず整理する必要があるそう。日々のケアを詳細に記録して（されていればその分析をして）皮膚ケアの統一的な基準を病棟で整えることから始めたらどうか。

【文献検索について】

- ・文献検索は、最初から絞りすぎないようにする。最初はひっかかる件数を多くして、その後絞り込んでいく。
- ・扱うテーマが最新のものであるほど文献が少ないため、よく似た疾患など、べつの似たような項目から文献を探すことも一つの手である。

【研究背景・目的について】

- ・研究背景・目的については、研究目的から結論が一貫しているほうがよい。
- ・やりたいことが次から次へと出てくると目的とずれていくので、常に何がやりたいのかを自問自答すること。

【倫理について】

- ・データはあっても研究に使用してよいデータかどうかは慎重に。かなりの配慮が必要である。

【研究方法について】

- ・実態を知るにはアンケートを行う必要がある。尺度を活用できる場合には尺度を活用し、それ以外の場合には、先行文献等から概念分析を行いアンケートを作成する等、文献を用いて参考に作成していることが明確にできれば良い。アンケートの作成に対して、主観的判断ではなく、先行文献からの関連性を持つことが大切であると助言した。
- ・収集するデータ、質問内容をどうするか決めていくことが重要である。研究目的がぶれないように注意が必要である。
- ・効果を判断するための測定は、退院前と後など予め決めておくことが大切。
- ・リーフレット使用前と後でアンケートをとり点数化すればよい。特に日常生活で困っていたことや変化してほしいことなどの明らかにしたいことをきちんと点数化しておくとうい。
- ・リーフレットの使用でどんな意義があるのか、臨床応用可能性はどうかという視点で研究ができる。例えば、インタビューを行い、語りから分析を試みるのもよい。また、アンケート(量的研究)をとり分析してもよい。
- ・インタビューのデータは、インタビュー内容でそれぞれではあるが、語られた内容を分析していくので、個人によって解釈が変わる。そのため、複数でデータの内容を確認すること、スーパーバイズを受けることで信頼性を確保する必要がある。
- ・インタビューの仕方によっては、欲しい内容を話してもらえないことが多い。どんな内容が知り得たいのか具体的にしておくことが大事である。
- ・明らかにしたいことを考えながら質問を考えること。今の状態では質問が広すぎていてカテゴライズがしにくいと思われる。得た情報も、どの視点で分析するかを定めておかないと、切り口がぼやける。フットケアを行ったことで、生活がどう変わったのか、その変化を患者はどう受け止めているのか、といった視点でするなら、語りによってその人の体験世界を明らかにすることはできる。
- ・研究を行う際に、尺度を使用する場合には、開発者に連絡(現在の所属を確認する)をとり使用許可をとる必要がある。
- ・1年程度の研究が多いが、研究内容により研究期間は異なるため、研究内容・方法から研究期間を検討する。

【まとめについて】

- ・まとめる際も、常に目的に立ち返り、そこからのずれが生じていないかを確認しながら進めていく。

【事例研究について】

- ・どのような介入をしたのか、いつしたのか、その変化などを詳細に書き起こすことで、この方法が有効であることがわかる。

表 11 講座全体の感想・意見

1. 研究への取り組み・理解	
・	分かりにくい研究に関して、勉強できる場があり、良かったです。看護学校でも学びたかったと思いました。
・	初めて研究をすることになり、この講座で一通りの流れや方法を知ることができた。できれば第 1 回から相談できるとよかったと思う。
・	書籍の紹介もあり参考になりました。もっと早く受講できれば、今までの看護研究に活かせただろうと思います。ありがとうございました。
・	参加させていただき本当に良かったです。今後の看護研究が楽しみになってきました。
・	アドバンスコースとあわせて 5 回の講座に参加させていただき、ありがとうございました。ぜひ研究中に参加して、相談させていただきたかったです。
2. 受講環境	
・	事情により 1 回休んでしまい、講座が受けられるような環境があるとうれしいです。すみません。コロナの中での開催ありがとうございました。参加した講座は、初めて取り組む私にとって勉強になりました。

2. アドバンスコースについて

アドバンスコースにおいて受講者の自己評価アンケートを実施した。

アドバンスコースの受講者は 12 人で、アンケート回収数は 12 人（回収率 100%、有効回答率 100%）であった。それぞれの質問項目に対し、そう思わない 1 点～そう思う 5 点の 5 件法で回答を求めた。

1) 基本属性（表 11）

表 11 アドバンスコース受講者の属性

個人の属性	人数	割合 (%) mean ± SD
性別		
男性	4	50.0
女性	8	100.0
年齢		
20歳代	2	8.7
30歳代	5	62.5
40歳代	2	25.0
50歳代以上	3	37.5
職種		
看護師	11	91.7
保健師	0	0.0
助産師	1	8.3
その他	0	0.0
勤務先		
病院	12	100.0
老人保健施設	0	0.0
保健所	0	0.0
その他	0	0.0

年齢層は、30 歳代が最も多く、平均経験年数は 15.4±8.4 年、所属施設は病院が 100%を占めている。また、職種は看護師がほとんどであり、病院での研究活動を行うために受講していた（表 11）。

2) アドバンスコース講義の内容について

アドバンスコースは、ビギナーコースと同様に、学部教員がサポートを行った。また担当講師は Excel や SPSS の習熟度に応じた資料準備を行った。講義内容の理解に関しては、約 60～70%が理解したと回答した。講義資料に関しては、70～80%が適切であると回答した（表 12）。アドバンスコースに対する意見や感想については、以下の報告があった（表 13）。

表 12 アドバンスコース アンケート結果

		n =12		
講義内容	質問項目	Mean	±	S.D
統計解析の基礎	内容の理解	4.2	±	0.36
	満足度	4.4	±	0.47
	資料が適切か	4.6	±	0.47
統計解析の演習	内容の理解	4.2	±	0.36
	満足度	4.3	±	0.42
	資料が適切か	4.4	±	0.47
SPSS	内容の理解	4.3	±	0.57
	満足度	4.1	±	0.47
	資料が適切か	4.4	±	0.61

表 13 講座全体の意見・感想

1. 学び ・院内とソフトが違うので、まだまだ何度も繰り返し行って、自分のものにしていけないといけな なと思いました。結果の読み取り方が少し理解できました。 ・「帰無仮説」という意味がどれだけ調べても今まで分からなかったのですが、今日の講義ですっき りと分かりました。 ・SPSS の細かなルールを今まで知らず研究していたが、正しい知識を身につけられました。 ・ビギナーでは Excel を使って表から統計をとる方法を学びました。今回 SPSS というツールでの学 びでしたが、いろいろな方法を学べたと思います。 ・量的研究について理解がとても深まりました。自分の計画を振り返りながら受講したことで、どの 検定がいいのかな？など見通しができたように思います。ありがとうございました。忘れないよう にしたいと思います。 2. その他・感想 ・SPSS についての資料は本当に分かりやすかったです。今後の研究に検定を使うときには参考にし たいです。ありがとうございました。 ・自分のデータを実際に使って演習してみたい。 ・フローチャートを用いた説明で、とても分かりやすく受講できました。 ・コロナ対策を行いながらこのような講座を受講でき、有意義な時間でした。学ぶことが楽しいと純 粋に感じました。

V. 卒業生研修会に関するアンケート結果

1. 2020 年 卒業生研修

2021 年 11 月 13 日（土）に聖泉大学看護学部第 1 期生から第 5 期生を対象とした卒業生研修会を開催した。卒業生研修に対する意見や感想については、以下の報告があった（表 14）。

表 14 卒業生研修 アンケート結果

1. 講演についての意見・感想

- ・専門職として働く中、それぞれのこだわりや考え方、いろいろあって人間関係で悩むことも多いですが、先生のお話の中で、自分でできる対処法をうまくやっていければと思いました。
- ・私が今やっているセルフコントロールでした。人間 80%が良いと思っています。マインドトークという知識は新しく、私にとって新鮮でした。ありがとうございました。
- ・ストレス対処、メンタルヘルスに関して興味があり、参加しました。他者へ相談することが苦手な、何か自身のストレス対処・メンタルの維持を上手にできるヒントになればと思いました。直接的な問題解決に対してはあまり対処していなかったもので、少し目を向けてみようと思いました。
- ・本日はありがとうございました。自身のメンタルヘルスについて改めて考え直し、振り返ることができました。振り返ることによってよかった点や考えなおす点が出てきました。私自身、私の周囲のストレスが少ない環境づくりに心がけていきたいと思います。
- ・「ストレスがあると自分にも他人にもやさしくできない」という点に共感できました。対処行動がとれる、自分の機嫌は自分で取れるように、どうしたら自分が落ち着けるのか考えなおしたいと思いました。学内のお笑いライブも参加したかったので、次回はぜひ時間が被らないように調整をお願いします。
- ・自分自身はストレスを感じやすいほうではなく、人からの相談を受けることが多いので、ストレスを対処できる方法をうまく伝えられるといいと思った。「ストレスは成長の源である」心に残りました。今日は参加させていただいてありがとうございました。
- ・ストレスは蓄積されていくものであり、早期に対応していくことが大切だと思った。うまくかわっていくためには期待を下げたり、コミュニケーションの方法を変えたりしながら対処していきたいと思った。興味のある内容でした。ありがとうございました。
- ・その他にあたる人にエネルギーを使うのではなく、身近な大切な人にエネルギーを使うことが良いことが分かった。マインドトークで悩まされることが多いので、今に集中できるように心がけようと思いました。
- ・メンタルヘルスについて、わかりやすい講義の内容でとても良かったです。「捉え方を変える」ことに取り組みたいです。風通しの良い部署を目指したいです。ありがとうございました。
- ・看護師のためのメンタルヘルスとして、ストレス対処などの講演内容はとても分かりやすかったです。対人関係理論やストレス対処行動については、看護職のみではなく、社会人や小中学生・高校生などにも必要なものだと思います。このような講演をする機会が増え、対象の幅が広がるいいなと思いました。

- ・自身のメンタルヘルスの仕方について、改めて学ぶことができて良かった。ストレスをかわすという力も身につけたいと思う。
- ・ストレス対処を行うにあたり、様々なことがあると思った。睡眠を大切にしようと思った。
- ・ストレスがあった時に起こるもののメカニズムも知れたので良かったです。ストレスに対する捉え方を変えることが少し苦手なので、これから意識してできるようにならないといけないなと思いました。ストレスを一時的にやわらげられても、結局問題が解決していなくて終わった時にしんどくなる人が多い。自分にかかるハードルを少し下げてみるようにしてみます。
- ・発達障がいのある新人Nsの指導が全くうまくいかず、ストレスがたまり苦しい状態なので、期待せず関わらないようにしようと思った。ただ新人Nsは患者の観察すら全くできず、半年以上たった今でも、熱発した患者の対応等ができないので、この内容のように、最低限のNsの仕事の期待はどうしたらなくせるのか。この新人Nsのミスは私の仕事が増えることになるので、できるようになってもらわないといけないが、どうしたらこの新人と関わらずやっていけるのかを、今後の課題としたい。

1) プログラム

研修テーマ	看護職のためのメンタルヘルスについて	講 師	木村 里美
日 時	令和3年11月13日（土）14：00～15：30	場 所	353 教室

2) 講師

木村 里美氏（済生会滋賀県病院 精神看護専門看護師，看護副部長）

3) 参加者

卒業生 14 人， 在学生 学部 1 人，大学院 3 人（学部卒業生 1 人再掲）

教 員 1 人 （＋ キャリアアップセンター委員）

4) アンケート回収数

18 部（回収率 100%）

資料

- ◆ 聖泉大学看護学部附属看護キャリアアップセンターの概要
- ◆ 聖泉大学看護学部附属看護キャリアアップセンター規程
- ◆ 個人情報の使用に係る承諾について
- ◆ キャリアアップ講座受講者の情報システム利用について
- ◆ 共同研究のお誘い

聖泉大学看護学部附属看護キャリアアップセンターの概要

■ 看護キャリアアップセンター設置の基本的な考え方

看護キャリアアップセンター(以下センターとする)の設置主旨は、地域の医療、教育の発展と向上のための看護研究や講座の場、あるいは保健・医療・福祉・教育現場の相互交流の場となって、広く皆様の活動に役立てられることにある。

■ センターの目的と機能

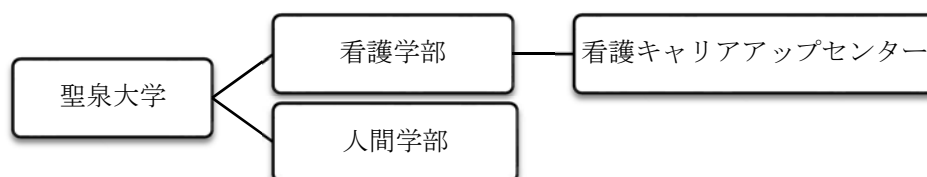
センターは、地域の医療、教育の発展と向上のための看護研究や講座の場として、また保健・医療・福祉・教育現場の相互交流の場としての役割を担うことを目的とし、その目的を達成するために次の事業を行うことによりその機能を果たすものとする。

- (1) 看護の質の向上を目指し、看護研究をテーマとした講座の開設
- (2) 地域の医療関係者、看護教育関係者の研究のサポート
- (3) 地域の医療関係者、看護教育関係者との共同研究
- (4) 地域医療の向上のための研究・調査に関する事業
- (5) 当大学卒業生の研究、講座のサポート
- (6) その他、センターの目的達成のために必要な事業

■ 設置・運営

聖泉大学看護学部看護学科

〒521-1123 滋賀県彦根市肥田町 720 番地 ホームページ <http://www.seisen.ac.jp>



聖泉大学看護学部附属看護キャリアアップセンター規程

(趣旨)

第1条 この規程は、聖泉大学学則第3条の3に基づき、看護学部附属看護キャリアアップセンター（以下「センター」という。）の構成及び運営、その他必要な事項について定める。

(目的)

第2条 センターは、地域の医療、教育の発展と向上のための看護研究や講座の場として、また医療・福祉・教育現場の相互交流の場としての役割を担うことを目的とする。

(事業)

第3条 センターは、その目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 看護の質の向上を目指し、看護研究をテーマとした講座の開設
- (2) 地域の医療関係者、看護教育関係者の研究のサポート
- (3) 地域の医療関係者、看護教育関係者との共同研究
- (4) 地域医療の向上のための研究・調査に関する事業
- (5) 当大学卒業生の研究、講座のサポート
- (6) その他、センターの目的達成のために必要な事業

(管理)

第4条 センターに、センター長を置く。

- 2 センター長は、センターを代表し、その事業及び管理運営の全般を統括する。
- 3 センター長は、学部長の推薦により学長が任命する。
- 4 センター長の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、前任者の任期途中で就任した場合は、その残任期間とする。
- 5 センターには、必要に応じて客員研究員を置くことができる。

(委員会)

第5条 センターに、委員会を置く。

- 2 センターは、次に掲げる者をもって組織する。
 - (1) センター長（委員長）1名
 - (2) 学部教員 若干名
 - (3) その他、学部長が必要と認めた者
- 3 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠の委員の任期は、その残任期間とする。
- 4 委員会は、次の事項について審議する。
 - (1) センターの運営に関する事項
 - (2) センターの事業に関する事項
 - (3) センターの予算に関する事項
 - (4) センターの研究活動に関する事項
 - (5) その他、センターの目的を達成するために必要な事項

5 委員長は、必要に応じ、委員以外の者の会議への出席を求め、意見を聴くことができる。

(センターの会計)

第6条 センターの会計は、本大学からの支出金および学外からの会費収入、援助金等により賄う。

(起案手続)

第7条 センターの行う事業その他重要な事項は、教授会に提案し、報告しなければならない。

(事務)

第8条 センターの事務は、事務部長が指名する所轄部署において行う。

(規程の改廃等)

第9条 この規程の改廃は、教授会の議を経て学長が行う。

付則

この規程は、平成23年4月1日から施行する。

資料

令和 年 月 日

キャリアアップ講座
受講者様

聖泉大学看護学部
附属看護キャリアアップセンター長
流 郷 千 幸

個人情報の使用に係る承諾について

聖泉大学看護キャリアアップセンターは、地域の医療、教育の発展と向上のための看護研究や講座の場、また保健医療福祉・教育現場の相互交流の場としての役割を担うことを目的にキャリアアップ講座（看護研究）を開講しております。その活動・成果は、聖泉大学のホームページや看護キャリアアップセンター活動報告書を通じて、滋賀県の病院等の関係施設に発信しております。

つきましては、講座風景写真、及び終了後アンケート調査結果等、個人情報に係る内容につきまして、使用のご承諾をいただきますよう、お願いいたします。

記

1. 講座終了後のアンケート調査（無記名）につきましては、回収をもって同意を得たとさせていただきますが、今後に活かすためにご協力ください。
2. 講座風景写真等の使用については、聖泉大学のホームページや看護キャリアアップセンター活動報告書に関するもののみに使用します。
3. 写真撮影時に除外の場合は申し出ください。また、ホームページを通じて掲載された肖像等について、削除依頼があった場合は速やかに削除します。

個人情報の使用に係る承諾書

キャリアアップ講座（看護研究）風景の写真等、聖泉大学看護キャリアアップセンター活動の広報目的で使用されることを承諾します。

令和 年 月 日

聖泉大学看護キャリアアップセンター長 様

氏 名 _____

キャリアアップ講座受講者 情報システム利用について

1. 利用資格：キャリアアップ講座受講生（聖泉大学情報センター規程第4・5条）
2. 利用期間：講座申込年度開講初日～当該年度末
3. ユーザー登録とID・パスワードの提供
 - 1) ユーザー登録は、本人が所定の用紙に必要事項を記入し申請する。
 - 2) 情報センターから申請者に対しID・パスワードを発行する。
 - 3) 個人のID・パスワードは、第2回講座からパソコンのログインに使用する。
4. 情報センター利用手続き
 - 1) 情報センター事務室にある「コンピュータ室利用申込」用紙に必要事項を記入する。
 - 2) 受講証明書を情報センターに預ける。それと引き換えに、許可証を受け取る。
(受講証明書を所持しない場合は、原則利用は認められない。)
 - 3) 許可証に記載された番号のコンピュータを使用する。
 - 4) 利用終了後、情報センター事務室において1)で記入した用紙に終了時刻を記入する。
 - 5) 許可証と引き換えに受講証明書を返却してもらう。
5. 情報センターコンピューター室の利用
 - 1) 第1コンピュータ室のみ利用を許可する。
 - 2) 開館日程は提示される。
 - 3) 利用できない日
 - a) 土日祝日
 - b) 学部定期試験前1週間前から学部定期試験期間中
 - c) 水曜日 12:00-14:30（利用状況によって、変更される可能性あり）
 - d) システムメンテナンス実施期間中（夏期休暇期間中を予定）

*なお情報センターの開館日程については、キャリアアップ講座開講時および看護キャリアアップセンターホームページに情報提供する。
 - 4) 利用目的は、文献検索ならびに関連作業のみとする。
 - 5) Webは閲覧可能であるが、一部のページ、動画サイトは、コンテンツフィルターによる制限がかかるため閲覧ができない。
 - 6) メール利用はできない。
 - 7) 取得情報の保存に当たっては、個人で保存すること。
6. 使用検索システム

医学中央雑誌、シナールについて利用可能であるが、利用数に制限がある。
7. プリンター利用について
 - 1) ポイント購入制 20ポイント：A4白黒印刷20枚＝100円
 100ポイント：A4白黒印刷100枚＝400円

以上

共同研究のお誘い

■共同研究をしませんか

看護キャリアアップセンターでは、地域の医療、教育の発展と向上のための看護研究や講座の場として、また医療・福祉・教育現場の相互交流の場としての役割を担うことを目的として、地域の医療関係者、看護教育関係者との共同研究を積極的に行っております。

共同研究の実施形態として、本学教員と共同または分担して研究するほか、医療施設での研究の指導・サポートも可能です。

■共同研究のすすめかた

- ・研究テーマは決まっているが、適当な教員がわからない場合

お問い合わせください。担当者がサポートいたします。

- ・共同研究をしたい教員が決まっている場合

当該教員におつなぎいたします。研究内容・期間・研究計画等をお知らせください。

■本学教員研究内容紹介

自分のしたい研究テーマを推進する教員が不在の場合でも一度ご相談ください。可能な限り対応させていただきます。

■お申込み

下記連絡先へお問い合わせください。

■受け入れについて

申込みいただいた内容を確認しまして、共同研究の受け入れを決定いたします。

■その他

共同研究を行う拠点として本学併設の研究施設（図書館・情報センターほか）などがご利用いただけます（研究推進目的に限る）。

■申込み及び問い合わせ先

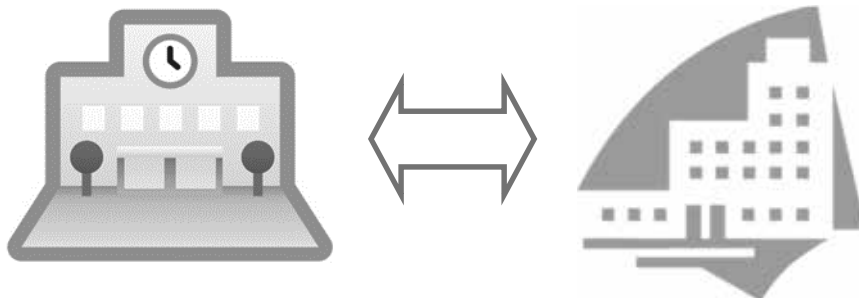
〒521-1123 滋賀県彦根市肥田町 720 番地

聖泉大学 看護学部附属 看護キャリアアップセンター

Tel : 0749-47-8400（代表）

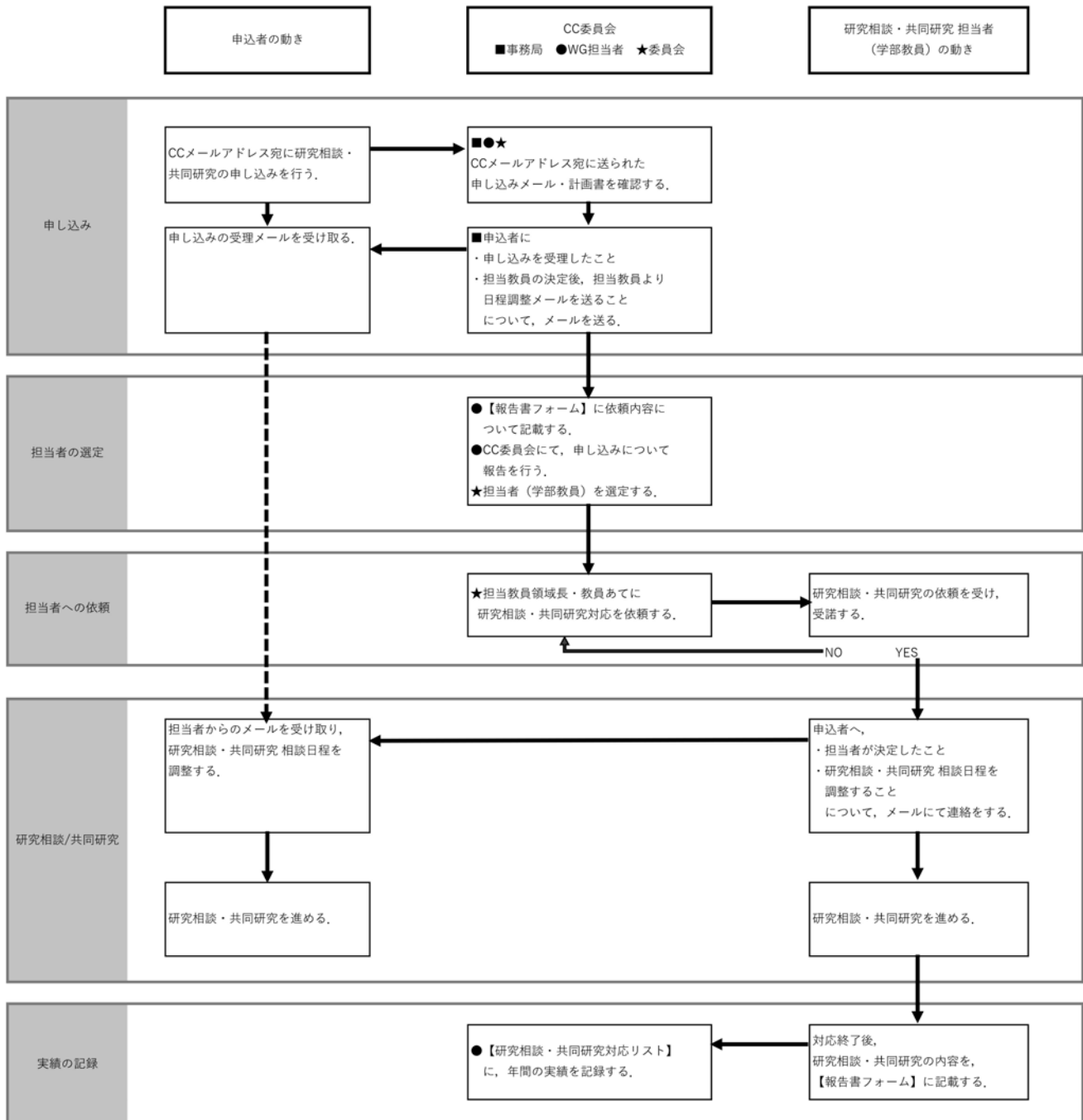
Fax : 0749-43-2411

E-mail : kango-career@seisen.ac.jp



2022年度看護キャリアアップセンター 研究相談・共同研究 対応フローチャート

キャリアアップセンター（以下 CCとする）



2022 年度 聖泉大学 看護学部附属看護キャリアアップセンター 活動報告
(下に相談件数を入れる)

あとがき

聖泉大学看護学部附属キャリアアップセンターは、地域の医療、看護教育の発展と向上のための看護研究や講座を開催、また保健医療福祉・教育現場の相互交流の場としての役割を担うことを目的に 2011（平成 23）年、看護学部開設と同時に設置されました。

当センターの大きな事業は、看護研究をテーマとした【キャリアアップ講座】と卒業生のサポートを目的とした【卒業生研修】です。

【キャリアアップ講座】では、看護研究の進め方、文献検索、研究方法、データ分析、まとめ方と発表、研究相談まで4回（4日間）開講し、全て受講した方に修了証を交付しております。2011（平成23）～2021（令和3）年度の9年間で修了者は237名に達しました。加えて2014（平成26）年度からは、研究の基礎的学習を終えている方を対象に、統計解析を中心とした講座を開設し、今年度までに81名が受講されました。このように滋賀県内の多くの看護職等の方々が【キャリアアップ講座】を受講していただきましたことに感謝申し上げます。

2019年度から、講座の名称をビギナーコース、アドバンスコースに変更し、皆様からいただいたご意見をもとに少人数制の講座を徹底し、サポートの充実を図りました。その結果、参加者アンケートでは、サポートが充実しており看護研究に取り組む意欲が湧いたなどの意見が多数あり好評を得ていますことを喜んでおります。

また、本学部卒業生は、今年度 8 期生を輩出し 593 名となりました。その多くは滋賀県内に就職しており、各施設でお世話になっていることと存じます。卒業生のサポートを目的とした【卒業生研修】は、1 期生の卒業とともにスタートし、今年度 6 回目（昨年は COVID-19 流行拡大防止のため中止）の開催となりました。当研修会は、卒業生のキャリア教育として、技術面や研究などのスキルアップ研修を実施してきました。今年度は、看護師のメンタルヘルスの講演をテーマとし、好評を得ました。また、卒業生と大学を繋ぐ役割もあり、久しぶりに出会った卒業生の成長を実感できる機会でもあります。今後も研修内容を工夫しながら継続していく予定です。2020 年度も当センターが看護職の方々や卒業生にとって身近な存在であるよう努力していきたいと思っております。

今後とも、当センターへの皆様のご支援とご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

2022 年 3 月

聖泉大学看護学部附属看護キャリアアップセンター長
流 郷 千 幸

聖泉大学看護学部附属看護キャリアアップセンター活動報告

2021 年度

Vol. 9

発行日

2022 年 5 月 1 日

発行者

聖泉大学看護学部附属看護キャリアアップセンター委員会

委員長 流 郷 千 幸
鈴 木 美 佐
川 嶋 元 子
井之口 文 月
篠 田 紀一郎
後 藤 則 子
川 橋 けい子

発行所

聖泉大学看護学部附属看護キャリアアップセンター

Email:kango-career@seisen.ac.jp

TEL. 0749-47-8400

印刷所

ひがし印刷